

買い物客へ減塩食品紹介

多治見市バローに試食コーナー
保健センター



減塩調味料を使った料理を試食する子ども
＝多治見市若松町、バロー多治見店

食育月間(6月)を機に減塩を広めようと、多治見市保健センターなどが、同市若松町のバロー多治見店でキャンペーンを行い、塩分を減らしたレシピを買い物客に紹介している。11日まで。

県東濃保健所、東濃3市(同市、土岐市、瑞浪市)の保健センターがバローホールディングスと協力して行う事業。キャンペーンは6日から実施、即席スープや調味料などの減塩食品を共通のポップでアピールしているほか、減塩メニューの試食コーナーの開設や献

立の配布、減塩食品の使用率調査などを実施している。

10日には減塩の和風だしを使用した水菜とツナのあえ物を試食で提供した。買い物に訪れた人は「おいしい」と笑顔を見せていた。

多治見市保健センターの担当者は「市内は血圧が高い人が多いといわれている。しょうゆやみそ以外の減塩食品も知ってほしい」と話した。

同様の事業は今月中に土岐市と瑞浪市でも実施する。

(稲木悠司)